参加される選手・指導者・役員の皆様へ

山形県中学校体育連盟水泳専門部

第61回山形県中学校総合体育大会水泳競技大会における新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策の実施について

山形県中学校体育連盟水泳専門部は、山形県中学校総合体育大会水泳競技大会の開催にあたり、スポーツ庁、山形県教育委員会、（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本水泳連盟、（一社）山形県水泳連盟及び本連盟が策定したガイドラインに基づき、以下の通り各種対策を実行し、安全な大会運営に努めてまいります。

参加される選手、指導者、役員の皆様におかれましては、以下の内容を十分確認の上、ルールを遵守し参加されますようお願いいたします。

記

《基本方針》

① 3密回避対策の徹底（身体的距離の確保）
② 入館時の体調確認及び検温
③ アルコール消毒等の定期実施（入館時、定期）
④ 無観客での実施
⑤ 短時間での開催（開会式の簡略化、個人表彰・閉会式なし、タイムレース決勝による競技時間の短縮）

1　共通留意事項

（1）新型コロナウイルス感染症予防対策の周知

・「大会開催時における新型コロナウイルス感染拡大予防対策」の会場掲示
・大会参加者への感染防止策の事前配布

（2）来場時要件の遵守　　※下記に記載する要件を満たしていない場合の大会参加は認めない。

①入館前２週間において、以下の事項に該当する事項がないこと。
・平熱を超える発熱・咳・のどの痛みなどの風邪の症状
・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
・臭覚や味覚の異常
・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
・過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航、または、当該在住者との濃厚接触がある

②大会前２週間以内の行動において、感染が拡大している地域（緊急事態宣言都市やまん延防止措置等重点措置区域、自治体独自の緊急事態宣言地域など）への移動歴があった場合及び同地区への移動歴のある者と濃厚接触があった場合は、必ず所属責任者へ相談の上、所属の判断に従うこと。

③マスクを着用し、咳エチケットを行うこと。（競技時等を除き、原則マスク着用）※熱中症を考慮し身体的距離を確保した上で定期的な取り外しは可

④こまめな手洗い（３０秒以上）、手指の消毒の確実な実施をすること。

⑤手洗い時のマイタオル（貸し借りしない）を持参すること。

⑥飲食時は対面にならないように注意し、飲み物（大型ボトル）の共用は行わないこと。

⑦他の選手、指導者、観客、役員等との適度な距離の確保を行うこと。

⑧大声での会話及び応援をしないこと。

⑨ビン・缶・ペットボトルを含め、ゴミは各自持ち帰ることとし、特に鼻水、唾液のついたゴミ、使用済マスク等は密閉し持ち帰ること。

⑩その他、主催者の感染防止のための措置の遵守並びに指示に従うこと。

⑪大会後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、本連盟に速やかに報告すること。濃厚接触者の有無等についても速やかに報告すること。

（4）検温の実施

参加者は、入場時に検温を受け、発熱がある場合は入場を許可しない。

（５）消毒等

入場時の手指消毒及び会場内（特に共用箇所）の定期消毒を実施する。

２　個別留意事項（選手・指導者・役員等の方々へ）

（１）開・閉会式及び表彰等

・集合しての実施はしない。大会会長挨拶並びに連絡・指示事項を放送で行う。

・審判長による競技上の注意等について放送にて行う。

・賞状は、学校ごとに監督に渡す。※競技終了後、学校対抗表彰のみ速やかに行う。

・閉会式は行わないので、競技終了後は速やかに退場すること。

（２）招集所

・選手間の身体的距離を極力あける。

・選手間が対面にならない配置をする。

・選手間の会話等は極力慎む指導を行う。

・招集所へは、２レース前を目途に集合する。（極端に早く集まり、密集しない）

・ウエア等を入れるビニール袋を１人１枚配布し、スタート台後方の脱衣カゴには直接ウエア等を入れないようにする。（記名した上で各自管理し、終日活用する。）

（３）着替え等

・入館時の着替えは指定の時間、指定の更衣室を使用すること。競技終了後は、随時指定の更衣室で着替えを行う。ロッカーを利用せず、荷物は各自控え場所に持っていくようにすること。

・着替え時の会話は極力慎む。

・原則マスクを着用したまま行う。

（４）ウォーミングアップ及びクーリングダウン

・朝のウォーミングアップについては、地区ごと（参加者数に合わせて）レーンを割り振る。
事前連絡でレーンの割り振りを周知する。　　※前泳者と２ｍ以上の間隔をあける。

・本プールでの公式スタート練習において並ぶ際は、１ｍ以上の間隔をあけること。選手の動線を一方通行とし、役員を配置して指導していく。

・接触して補助が必要な練習は禁止とする。

・練習道具は自身の物以外は使用せず、ドリンク等について回し飲みなどは絶対にしないこと。

・監督及びコーチは原則マスク着用で指導すること。　（熱中症に注意）

（５）選手控え場所

・選手、指導者とも、控え場所では原則マスクを着用すること。　（熱中症に注意）

・できる限り対面とならない配置とスペースの確保に努めること。

・用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止とする。

・できるだけ各学校で消毒液を準備し、共用の場所へ移動した際は手指消毒を行うこと。

（６）応援

・大声での指導や応援は禁止。（拍手による応援は積極的に行ってください。）

（７）会場内

・役員席並びに競技役員控室でも、役員同士の身体的距離をあけ、不必要な会話は慎む。

・受付、招集、通告席等の頻繁に声を発する場所は、飛沫防止のための措置を行う。（拡声器等も使用し大声を避ける。）

・手洗い場には液体せっけん、アルコール消毒を準備する。

・トイレの蓋を閉めてから汚物を流すように表示する。

（８）大会用具等の定期消毒

・共用品（椅子、机、スタート・計時用具、放送マイク等）の定期消毒を行う。

（９）会場内の定期巡回及び消毒の実施

・競技役員は、定期的に施設内を巡回し、ルールを遵守しているか確認及び適宜指導を行う。

・共用場所（多くの人が触れる場所等）について定期的な消毒を実施する。

（10）競技運営

・会場レイアウト等を工夫し、競技の入退場等の際の選手同士の身体的距離を確保する。

・競技役員は不織布マスクを着用する。また、審判長と出発合図員の身体的距離を十分確保する。

３　保護者の方へ

・大会参加にあたり、選手、保護者本人の体調管理には特段の注意を払い、少しでも体調に異変がある場合は、決して参加させないでください。